

# なかよしタイム

2018. 5. 1

吉川保育所では約15年前より、しまみみずを飼っています。  
豊能町がゴミの分別を始めたころです。保育所では環境問題と並行して、人権保育の視点からも当番活動を見直して取り組みました。

一般的にみみずは、気持ち悪いもの、触りたくないというイメージをもたれがちです。身近な活動経験からこのような意識も変わってほしいなあという願いをもって取り組んでいます。

しまみみず（釣りの餌になっているもの）は、食べ物を分解し、土の環境を整え、排泄物は食物、植物が育つのに栄養となるのです。

『捨てればゴミとなって、みんなの地球が汚れるけど、みみずにあげると栄養の土となって、きれいな地球を守れるんや！』

と、子どもたちと共に続けてきている吉川保育所の取り組みです。

例年みみずの当番は4歳児が担当しています。子どもたちにとっては、「科学の興味」への一歩になったり、当番活動を通して、友だちと協力することを知ったり、ルールがあることを学んだり・・・とたくさんのことを学習できる活動です。自然との関わりを深め、生命の尊さにも気づいてほしいと願っています。

どうか、おうちの方もみみずの取り組みを理解していただき、『みみずって、すごいねんあ。』という見方に変えていただき、一緒に子どもの興味関心を深めてもらえたら嬉しいです。

今日は、幼児クラスの子どもたちが、新しい土にみみずを引越しさせてくれました。土の中からみみずを見つけ出すことに大張り切り！虫が大好きな子どもたちにとっては目がキラキラ！でも「触れない・・・。ちょっと怖い・・・」と逃げ腰の子も。でも最後にはそーっと触れるようになったり、触れなくてもじっと覗き込んで観察してみたり、貴重な活動となりました。

**子どもたちが当番活動としてみみずの液肥をペットボトルに詰めて「みみずのちから」を作ります。また、玄関に置いていきますのでご自由にお持ち帰りください。畑の野菜、花、観葉植物などに薄めてやってください。野菜の残りや果物の皮がありましたら、持ってきていただけると嬉しいです。（玄関横にかごを作っています。）**

**※イモ類、玉ねぎ、みかん、バナナの皮は分解が遅かったり、カビが先に生えてしまうのでみみずのご飯には不向きですのでそれ以外をお願いします。**

みみずのマンション（みみずコンポスト）は3階立て。一番上に野菜や果物を入れてあげると、一番下にみみずの力がたまっていくよ。それはみんなが育てる野菜の栄養にもなるんだよ！



どこにみみず、いるんやろ。



さすがくま組さんは、  
見つけるの上手だね！

ここにもみみずがいた！いっぱいいる！



みみずのたまご！  
小さくて、丸いね。ちょっと黄色いなあ。



ぼく、触れるで！

